

2025 年 1 月 15 日現在

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数	
未成熟とう もろこし	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内	
		40 倍	2～3.2 L /10 a			無人航空 機による 散布		
	アブラムシ類 アブラムシ類	2000～ 4000 倍	100～300 L/10 a			散布		
えだまめ	ハスモンヨトウ マメシキイガ アブラムシ類	2000～ 4000 倍	0.8～2.4 L/10 a	収穫 7 日 前まで		無人航空 機による 散布	4 回以内 (は種前の処 理は 1 回以 内、は種後の 処理は 3 回以 内)	
だいず		2000～ 4000 倍						
さやいん げん		ハスモンヨトウ	4000 倍	100～300 L/10 a		収穫前日 まで	散布	3 回以内
	ハダカバエ類	2000 倍						
	アズキイモガ	2000～ 4000 倍						
かんしょ	ハスモンヨトウ ナカシロシタバ アブラムシ類 アブラムシ ヨモギカメノコハムシ ヒメハダカメノコハムシ アブラムシ類	4000 倍	1～2 L /10 a	収穫 7 日 前まで		無人航空 機による 散布	3 回以内	
	40 倍							
ばれい しょ	ハスモンヨトウ	4000 倍	100～300 L/10 a	収穫 7 日 前まで		散布		
	ハスモンヨトウ アブラムシ類 ジャガイモガ	40 倍	2～3.2 L /10 a			無人航空 機による 散布		
	アブラムシ類 ジャガイモガ	2000 倍	100～300 L/10 a			散布		
やまのいも	ナカイモガ ハスモンヨトウ アブラムシ類 コガネムシ類	4000 倍	1～3 L /10 a	収穫 7 日 前まで		無人航空 機による 散布		
	40 倍							

2025年1月15日現在

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数
だいこん	アブラムシ類 ハモグリバエ類 キスジノミハムシ	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (は種時までの 処理は 1 回以 内、は種後の 処理は 3 回以 内)
	ヨトウムシ	4000 倍					
	コナガ アオムシ ハイマダラノメイガ カブラハバチ類 ダイコンハムシ	2000～ 4000 倍					
	アブラムシ類 ハモグリバエ類 キスジノミハムシ ヨトウムシ	20 倍	1～2 L /10 a			無人航空 機による 散布	
はくさい	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウリハバチ類 シロイチモジヨトウ	2000～ 4000 倍	100～300 L/10 a			無人航空 機による 散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、定植後の 処理は 3 回以内)
	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウリハバチ類 シロイチモジヨトウ アブラムシ類 キスジノミハムシ	20 倍	1～2 L /10 a				
	アブラムシ類 キスジノミハムシ	2000 倍	100～300 L/10 a			散布	
	キャベツ	コナガ アオムシ ヨトウムシ ハスモンヨトウ ハイマダラノメイガ ウリハバチ類 オオタバコガ シロイチモジヨトウ					
アサミウマ類 アブラムシ類		20 倍	1～2 L /10 a				
			2000 倍	100～300 L/10 a	散布		
ブロッコリー	コナガ アオムシ ハスモンヨトウ シロイチモジヨトウ	2000～ 4000 倍	1～2 L /10 a	無人航空 機による 散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、定植後の 処理は 3 回以 内)		
		20 倍					
	アサミウマ類 アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10 a			散布	

2025 年 1 月 15 日現在

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シアントラニプロール を含む農薬の 総使用回数			
レタス 非結球レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ ウリバ類 シロイチモンジヨトウ	2000～ 4000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、定植後の 処理は 3 回以 内)			
	オオタバコガ ハスモンヨトウ ヨトウムシ ウリバ類 シロイチモンジヨトウ ハモグリバエ類 アブラムシ類	20 倍	1～2 L /10 a			無人航空 機による 散布				
	ハモグリバエ類 アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10 a			散布				
ねぎ	シロイチモンジヨトウ アザミウマ類 ハモグリバエ類 ネギコガ	2000 倍				20 倍	1～2 L /10 a	無人航空 機による 散布	4 回以内 (定植時までの 処理は 1 回以 内、定植後の 処理は 3 回以 内(但し、株元 灌注は 1 回以 内))	
	たまねぎ	シロイチモンジヨトウ ハスモンヨトウ ハモグリバエ類	2000 倍					100～300 L/10 a		散布
アザミウマ類		20 倍	1～2 L /10 a			無人航空 機による 散布				
		アザミウマ類	2000～ 4000 倍			100～300 L/10 a	散布			
にんにく	アザミウマ類 ネギコガ アブラムシ類	2000 倍	20 倍			1～2 L /10 a	収穫7 日前 まで	散布	無人航空 機による 散布	
	アザミウマ類 ネギコガ アブラムシ類	20 倍						1～2 L /10 a		無人航空 機による 散布
アスパラガス	ハスモンヨトウ	4000 倍	100～300 L/10 a			収穫前日 まで	3 回以内	散布		
	アザミウマ類	2000 倍								
にんじん	アブラムシ類	2000～ 4000 倍	1～2 L /10 a	無人航空 機による 散布						
	アブラムシ類 ヨトウムシ ハスモンヨトウ キアゲハ	40 倍			100～300 L/10 a			無人航空 機による 散布		
	ヨトウムシ ハスモンヨトウ キアゲハ	4000 倍								

2025 年 1 月 15 日現在

作物名	適用病害虫名	希釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の 総使用回数		
トマト ミニトマト	オオタバコガ	2000～ 4000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	5 回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元 灌注は合計 1 回以内、定植 後の株元灌注 は 1 回以内、 定植後の散布 は 3 回以内)		
	ハモグリバエ類 コナジラミ類 アザミウマ類 アブラムシ類 トマトキバガ	2000 倍					4 回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元灌 注は合計 1 回 以内、定植後 の散布は 3 回 以内)		
ピーマン	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類	2000～ 4000 倍					4 回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元灌 注は合計 1 回 以内、定植後 の散布は 3 回 以内)		
	オオタバコガ						4 回以内 (灌注は 1 回以 内、散布は 3 回以内)		
ししとう	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類	2000 倍					4 回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元灌 注は合計 1 回 以内、定植後 の散布は 3 回 以内)		
	オオタバコガ	2000～ 4000 倍				4 回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元灌 注は合計 1 回 以内、定植後 の散布は 3 回 以内)			
きゅうり	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類 ハモグリバエ類 ウリノメカガ ウリハムシ	2000 倍				1～2 L /10 a	収穫開始3 日前まで	無人航空 機による 散布	3 回以内
かぼちゃ	ハモグリバエ類	20 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	散布				4 回以内 (定植時までの 処理及び定植 直後の株元 灌注は合計 1 回以内、定植 後の散布は 3 回以内)
	ハスモンヨトウ	4000 倍							
オクラ	アブラムシ類	2000 倍	100～300 L/10 a	収穫前日 まで	2 回以内	散布			
いちご	ハスモンヨトウ	2000～ 4000 倍							
	アザミウマ類 アブラムシ類 コナジラミ類 チバクロハネキノ ハエ カキヒメヨコバイ	2000 倍							
たばこ	ヨトウムシ タバコノミハムシ	4000 倍	100～180 L/10 a	収穫 10 日 前まで	2 回以内	2 回以内			